



暗号資産会計方針テンプレート:方針が 明記すべき決定事項

暗号資産会計方針は、監査人が最初に求める書類であり、ほとんどの事業体が保有していないものです。このテンプレートでは、方針が解決しなければならないすべての決定事項を、推奨ではなく記入式のポジションとして説明します。これにより、経理チームはポジションを採用し、文書化し、每期同じ方法で適用できます。

CryptaCount

www.cryptacount.com

General information, not accounting, legal or tax advice

暗号資産会計方針テンプレート:方針が明記すべき決定事項

暗号資産会計方針は、監査人が最初に求める書類であり、ほとんどの事業体が保有していないものです。このテンプレートでは、**方針が解決しなければならないすべての決定事項を、推奨ではなく記入式のポジションとして説明**します。これにより、経理チームはポジションを採用し、文書化し、每期同じ方法で適用できます。

この文書の目的

暗号資産会計方針とは、事業体がデジタル資産をどのように会計処理するかについての簡潔で署名済みの声明です。対象範囲、報告フレームワーク、測定基準、コスト基準法、価格ソースとカットオフ、手数料・収入・内部移転の処理方法を定めます。これは基準に関する技術論文ではなく、作成者が従い、レビュー担当者が照合するための内部ルールブックです。

方針の価値は、**一貫性と文書化**にあり、巧妙さではありません。異なる事業体が同じ質問に対して異なる防御可能なポジションを採用し、両方とも監査可能な帳簿を作成できます。しかし、毎四半期にその質問を新たに決定することはできません。期間間で方法を変更することは会計方針の変更であり、それ自体に開示と比較可能性の影響があり、当初のポジションを誰も書き留めなかったために偶然発生した場合、典型的な監査指摘事項となります。

方針が文書化され、日付が記入され、署名されていなければ、事業体には方針がありません。習慣があるだけです。

方針の決定事項を一つずつ

1. 範囲:方針が対象とする資産

方針が適用される保有資産と、意図的に除外するものを明記します。典型的な範囲設定では、パブリックネットワーク上で保有される代替可能トークン、ステーブルコイン、棚卸資産またはトレーディング目的で保有されるトークン、非代替性トークン、ステーキングまたはロックされたポジション、第三者のために保有される資産を区別します。方針が名前を挙げていない保有資産は、監査人が見つけるギャップです。

2. 報告フレームワーク

財務諸表が準拠するフレームワーク(**IFRS**または**US GAAP**)および現地の追加要件を明記します。この選択は方針のほぼすべての上位に位置し、測定はこれに従います。2つのポジションについては、**IFRS暗号資産レポート**および**US GAAP暗号資産レポート**を参照し、比較については**IFRSとUS GAAPの比較ガイド**を参照してください。

3. 測定基準

フレームワークに従う測定基準を記録します。IFRSでは、暗号資産は通常**IAS 38**に基づき無形資産として、取得原価から減損を控除して会計処理され、限られた状況でのみ再評価が認められます。US GAAPでは、**FASB ASU 2023-08**により、対象となる暗号資産は純損益で認識される公正価値で測定することが要求されます。基準を明記し、適用される資産を明記し、基準自体に対して範囲を確認してください。

4. コスト基準法と一貫性

事業体が適用する処分コスト基準法を明記し、それがウォレットごとに適用されるか事業体全体に適用されるかを明記し、すべての処分とすべての期間にわたって一貫して適用することを文書でコミットします。変更が提案された場合のエスカレーションルートを追加します:誰が承認するか、どのように開示するか、比較情報をどのように扱うか。CryptaCountは12の処分コスト基準法をサポートしています。**コスト基準法**を参照してください。

5. 公正価値ソースと時間規約

これは最も一般的に欠落している条項です。**どの価格ソース**が使用されるか(指定された取引所、インデックス、またはフォールバックの階層)、**どのカットオフ**が適用されるか(例:各期間末の指定された時間帯の固定時間)、プライマリソースに資産の価格がない場合に何が起るか、および非流動的または薄く取引されるトークンがどのように処理されるかを明記します。再現できない評価は監査できません。

6. 取得および処分手数料

資産の取得に支払われた手数料がそのコスト基準に資本化されるかどうか、処分時に支払われた手数料が純収入を減らすかどうかを明記し、使用される勘定科目を指定します。手数料は個々には小さくても、高頻度の期間には総額で重要であり、一貫性のない処理は実現利益に直接現れます。

7. ネットワーク手数料とガス代

ネットワーク手数料に関するポジションを設定します:取得資産のコストに資本化される場合、費用化される場合、内部移転の手数料がどのように処理されるか。ガスは通常ネイティブトークンで支払われ

るため、手数料の決済自体がそのトークンの小さな処分となり、測定して計上する必要があることを明示的に記載します。

8. 暗号資産で受け取った収入

ステーキング報酬、マイニング収益、エアドロップ、および商品、サービス、給与の支払いとして受け取ったトークンを対象とします。測定時点(受領時の価値)、貸方に記入される収入勘定、および受領価値が資産のコスト基準となり、後の処分で同じ価値が二重に認識されないようにするルールを明記します。

9. 事業体自身のウォレット間の移転

事業体が管理するウォレットまたはアカウント間の移動は**処分ではない**ことを明確に記載します。帳簿価額は資産とともに移動し、損益は発生しません。自己ウォレットの移動がどのように識別され、証拠が残されるかを記録します。これは暗号資産の帳簿が最も頻繁に誤る箇所だからです:売却として計上された内部移転は、実際には発生していない実現利益を捏造します。

10. カストディとウォレットの棚卸

対象となるすべてのウォレットアドレス、取引所アカウント、カストディアンの台帳を維持し、それらを管理する事業体、目的、署名者またはキーホルダー、支配の証拠を記録します。台帳の所有者、新しいウォレットの追加方法、廃止されたウォレットの閉鎖方法を明記します。このリストが完全でなければ、帳簿の完全性を主張することはできません。

11. レビューの頻度と署名

レビューの頻度(少なくとも年1回、および保有、取引所、基準に重要な変更があった場合)を設定し、所有者を指定し、方針に**署名と日付**を要求します。廃止されたバージョンは保管してください:監査人はレビュー期間中にどのバージョンが有効であったかを知りたいがります。

方針決定テーブル

このテーブルを方針文書にコピーし、右の列を完成させてください。中央の列は決定事項が何であることを示しており、私たちの推奨を示すものではありません。

決定	解決すべきこと	事業体のポジション
範囲	方針が対象とする資産と保有、および除外されるもの。	
報告フレームワーク	IFRS、US GAAP、または現地フレームワーク、および親会社の報告オーバーレイ。	

測定基準	フレームワークから導かれる基準、およびそれが適用される資産。	
コスト基準法	選択された処分方法、およびそれがウォレットごとに適用されるか事業体全体に適用されるか。	
一貫性	すべての期間にわたって方法を適用するコミットメント、および変更の承認ルート。	
公正価値ソース	指定された価格ソースまたは階層、および価格が存在しない場合のフォールバック。	
評価カットオフ	各期間末に使用される時間とタイムゾーン。	
取得手数料	基準に資本化または費用化、および使用される勘定科目。	
処分手数料	収入から控除または費用化、および使用される勘定科目。	
ネットワーク/ガス手数料	いつ資本化され、いつ費用化されるか、およびネイティブトークンの処分がどのように測定されるか。	
暗号資産での収入	測定時点、収入勘定、および繰り越される基準。	
内部移転	自己ウォレットの移動が処分ではないことの確認、およびそれらがどのように証拠付けられるか。	
カストディ台帳	誰がウォレットとアカウントの棚卸を維持し、支配がどのように証拠付けられるか。	
サブ元帳から総勘定元帳へ	サブ元帳の詳細がどのように要約され、計上され、照合されるか。	
レビューと署名	頻度、所有者、承認者、日付、およびバージョン管理。	

方針を運用可能にする

方針は、数値を生成するシステムがそれを強制する場合にのみ維持されます。CryptaCountは暗号資産サブ元帳であり、すべての処分にわたって単一のコスト基準法を決定論的に適用し、内部移転を通じて基準を引き継ぎ、手数料を各計算の正しい側に折り込み、期間の要約仕訳を総勘定元帳に転記し、取引レベルの詳細をその下に保持します。これにより、文書化されたポジションが再現可能な帳簿に変わります。

このテンプレートを暗号資産監査準備チェックリストおよび仕訳チートシートと組み合わせて、次の決算前に活用してください。

Disclaimer. 一般的な情報であり、法的、会計、税務のアドバイスではありません。適用可能な基準に照らして、範囲、測定、表示を確認し、資格のあるアドバイザーに相談してください。



Put your crypto books on a real sub-ledger at app.cryptacount.com

© 2026 CryptaCount. All rights reserved.